



特集

カスタロ・ネーベス駐日ブラジル大使来総 ファンジャ・ブランチ・マンデー

2

わたしたちが考え
わたしたちが実行するまち

平成22年度予算

6

2010
5
No.62

平成22年5月1日発行（毎月1回1日発行）

発行/総社市役所 編集/企画課広報広聴係
〒719-1192 岡山県総社市中央二丁目1番1号

電話0866-94-9479
FAX0866-94-9479
Eメール kikaku@city.soja.okayama.jp

〒719-1197 岡山県総社市窪木111 TEL : 0866-94-2111
E-mail : kendai@ad.oka-pu.ac.jp http://www.oka-pu.ac.jp

岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

学生講座

ファイル共有ソフトの危険性

ファイル共有ソフトとは、

インターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアです。その中でも最も有名なものがWinnyです。その利用者は、最大時で約50万人にも及ぶといわれています。

違法性

ファイル共有ソフトを使うと音楽や映画など豊富なデータを入力することが可能です。しかしながら、その大半のデータは、著作権法に違反しています。実際に著作権法違反容疑によって多くのWinny利用者が逮捕されています。欲しいと思ったファイルを手に入れることによって、気づかないうちに犯罪者になっているかもしれません。

個人情報流出

例えば、Winny上で流通しているファイルには、悪質なウイルスが仕込まれているものもあります。そのようなファイルを誤ってダウンロードした場合、Winnyを通じて個人情報がばらまかれるという恐れがあります。流出する個人情報としては、個人の電子メールデータや、デジタルカメラの画像、違法コピーデータを使用しているスクリーンショットやパスワードが書かれたメモなどさまざまなものがあります。また、被害は使用者個人にはとどまりません。マスコミでも報道されているように、警察や防衛庁など多数の組織において、機密情報や職務上知りえた個人情報などが流出した事例があります。



しかし、多くの利用者は自分の操作により、ウイルスに感染していることに気づいておらず、被害をさらに拡大させることも少なくありません。もしかすると、あなたのパソコンのデータも、すでにインターネット上に流れているかもしれません。

こういった被害を防ぐ確実な方法として、Winnyなどファイル共有ソフトを利用しないことが一番だと呼び掛けられています。

このページの記事・写真・レイアウトは、岡山県立大学デザイン学部が行っています。

地域文化・自然が支える心豊かな生活交流都市
総社市役所のホームページ <http://www.city.soja.okayama.jp/>

再生紙を使用しています。

今月の主な内容

子ども手当の手続き	10	今秋は国民文化祭だ	26
総社市スポーツ振興表彰お知らせ	12	輝いている人	29
	16	フォトニュース	30